理事会だより

令和3年度第5回の理事会が令和3年9月18日(土)に、第6回の理事会が令和3年11月27日(土)にオンラインで開催されました。ここでの審議内容と報告の中からいくつかをご紹介します。

第5回理事会

令和4年度春季大会について

春季大会は原則として関東支部の持ち回りで開催しておりますが、令和4年度は日本大学が担当校となります。今回の理事会で議論した結果、Covid-19の感染状況が未だ予測困難であること、さらに、決定をこれ以上先延ばしにした場合、準備期間を十分にとることができないことから、令和4年度の春季大会はオンライン開催とすることが決定しました。令和3年度の春季大会に次いで二回目のオンライン開催となりますが、会員の皆様の積極的なご参加をお待ちいたします。大会の詳細につきましては追ってホームページでお知らせいたします。

支部幹事の選挙について

既に実施済みではありますが、各支部の支部幹事の選挙をオンラインで行うことが決定した旨、個別に報告がありました。選挙につきましては大きな問題もなく、無事に終了しておりますが、今後もオンライン投票システムは継続すると思われます。郵送料を考慮するとオンライン投票は決して高額ではないうえ、集計の簡便さと正確さは従来の紙ベースの投票とは比較にならないほどの優れたものであります。今回は初めての試みであったため、不自由な点があったかもしれませんが、今後経験を重ねることでスムーズになることが期待されます。理事会におきましても、各支部間での情報、問題点の共有を進めております。

第6回理事会

令和4年度秋季大会について

前回の理事会だよりで令和4年度の秋季大会は9月の24日～26日とお知らせいたしておりましたが、9月の5日～7日に変更となりました。開催場所は予定通りフェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎県宮崎市)です。お間違えの無いようお願いいたします。

創立100周年事業の積立金の計画変更

日本水産学会では、日本の水産関係者が最新の研究情

報を発信・入手するとともに世界の水産研究者と交流する機会を提供するため、国際会議を定期的に開催しております。皆様もご存知の通り、本学会主催のもとで平成13年(2001年)に日本水産学会創立70周年記念国際シンポジウムを、平成20年(2008年)に第5回世界水産学会議をそれぞれ横浜市で開催し、平成29年(2017年)には創立85周年記念国際シンポジウムを東京で開催いたしております。そこで、日本水産学会が創立100周年を迎える際には、記念国際シンポジウムを東京において開催することを予定いたしております。

このような大規模な国際シンポジウムの開催には多額の経費がかかるため、2,000万円を日本水産学会が補助することを計画しております。この目的を達成するため、創立85周年記念国際シンポジウムのために積み立てた国際研究・交流資金の残金700万円と合わせ、13年間で1,300万円を積み立てていく計画をしておりました。しかし、令和3年はCovid-19感染拡大の影響で一部の活動を制限せざるをえなかったため、支出が少ないことが予想されます。そこで、この積立金の増額が財務担当理事から提案され、本理事会で承認されました。会員数の減少が継続している状況下におきまして、将来、学会の収入が減少するようなことがあっても、今回の追加積み立てにより、当初の計画を問題なく達成できるものと期待されます。また、令和4年度以降もCovid-19感染拡大の影響が続く場合には、同様に積立金の増加を行うことも併せて承認されております。本件は、総会での承認事項となりますので、ここで皆様にご報告させていただきます。

日本水産学会各賞について

日本水産学会各賞受賞者が決定しました。各賞の受賞者、受賞タイトル、受賞理由、総評と選考経緯はホームページに公表されますのでそちらをご覧ください。また、学会賞選考委員会担当理事から、推薦数が昨年から引き続き少なめである旨報告がありました。日本水産学会各賞の推薦締め切りは例年7月末日となっておりますので、積極的なご推薦をお待ちいたします。

学会誌の配本について

従来、日本水産学会誌およびFisheries Scienceの配本を希望されます会員の方には50名に限り1年分を5,000円(税、送料込み)で販売するという特典を継続してまいりました。しかし、紙媒体の購入希望者が少ないため、令和4年度から本配本は先着10名に限ることと変更になりました。ご希望の会員はお早めに学会事務局にお問い合わせください。

総務理事 吉崎悟朗(文責)